

議 員 協 議 会 説 明 資 料

水 道 事 業 経 営 に つ い て

都 市 整 備 部 水 道 課

美唄市水道事業の経営状況について

1 経営状況と資金剰余金の推移

美唄市水道事業の経営については、昭和57年度の料金改定以降財政状況は安定し、平成元年度及び平成9年度の消費税内税化や平成2年度の基本料金値下げを実施しながら現在に至る。

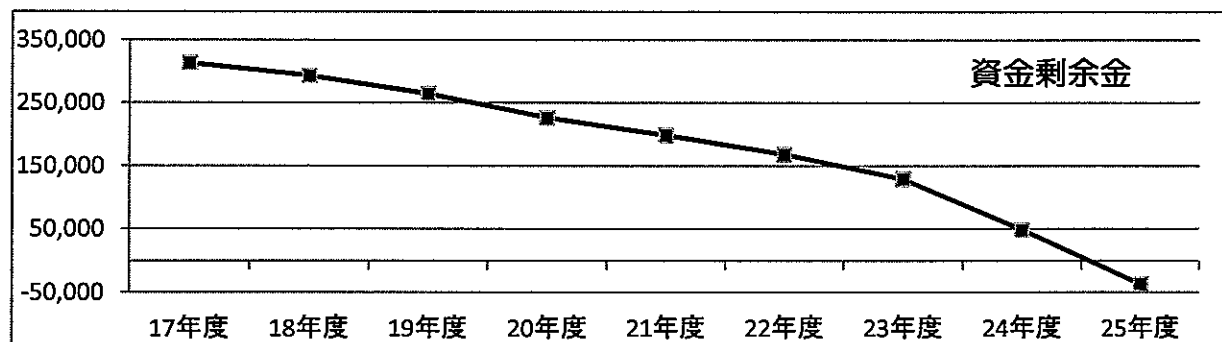
この間、人件費の削減を中心に経費削減に努め資金剰余金を維持しながら事業運営をしてきたが、平成17年度の資金剰余金ピーク以降、慢性的な給水人口の減少などが原因で有収水量が減少し、平成25年度決算での給水収益は、平成17年度に比べ約8,700万円の減少となり、不良債務が3,707万円発生する状況となっている。

※金額は全て税抜き表示

資金剰余金の推移

(単位:千円)

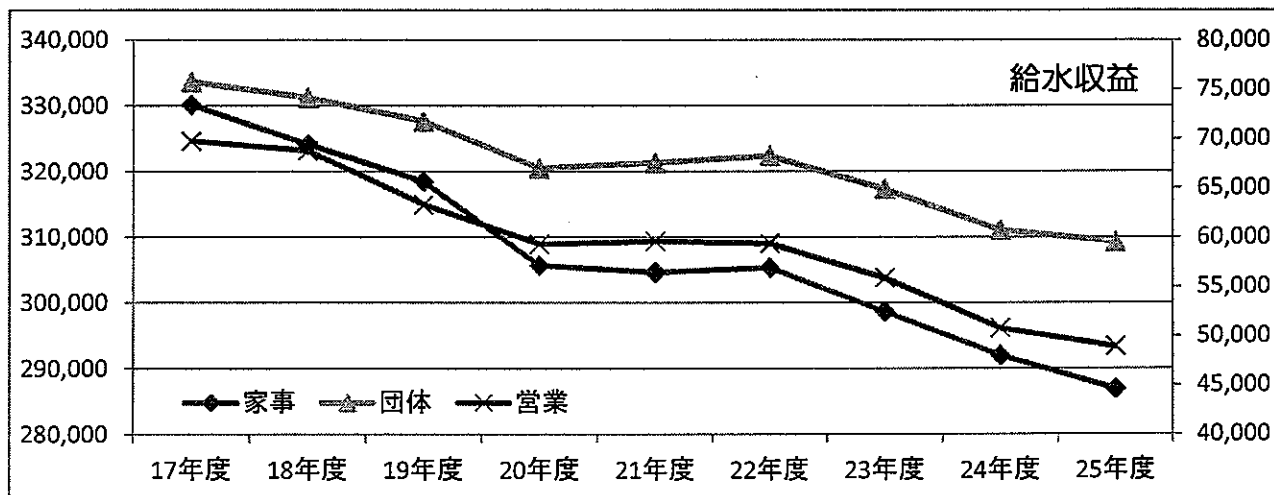
区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	H25-H17
資金剰余金	313,659	293,170	264,263	225,983	198,744	168,335	129,342	48,617	△ 37,073	△ 350,732



給水収益(用途別)の推移

(単位:千円)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	H25-H17
家事	330,091	324,088	318,422	305,662	304,613	305,322	298,630	291,972	286,871	△ 43,220
団体	75,745	74,103	71,753	66,973	67,530	68,217	64,837	60,689	59,497	△ 16,248
営業	69,748	68,759	63,278	59,262	59,558	59,349	55,850	50,752	48,895	△ 20,853
大口	26,757	21,047	19,146	18,515	17,748	17,524	19,704	23,685	23,356	△ 3,401
その他	8,068	6,912	6,418	5,037	5,470	5,545	5,046	4,657	4,335	△ 3,733
合計	510,409	494,909	479,017	455,449	454,919	455,957	444,067	431,755	422,954	△ 87,455



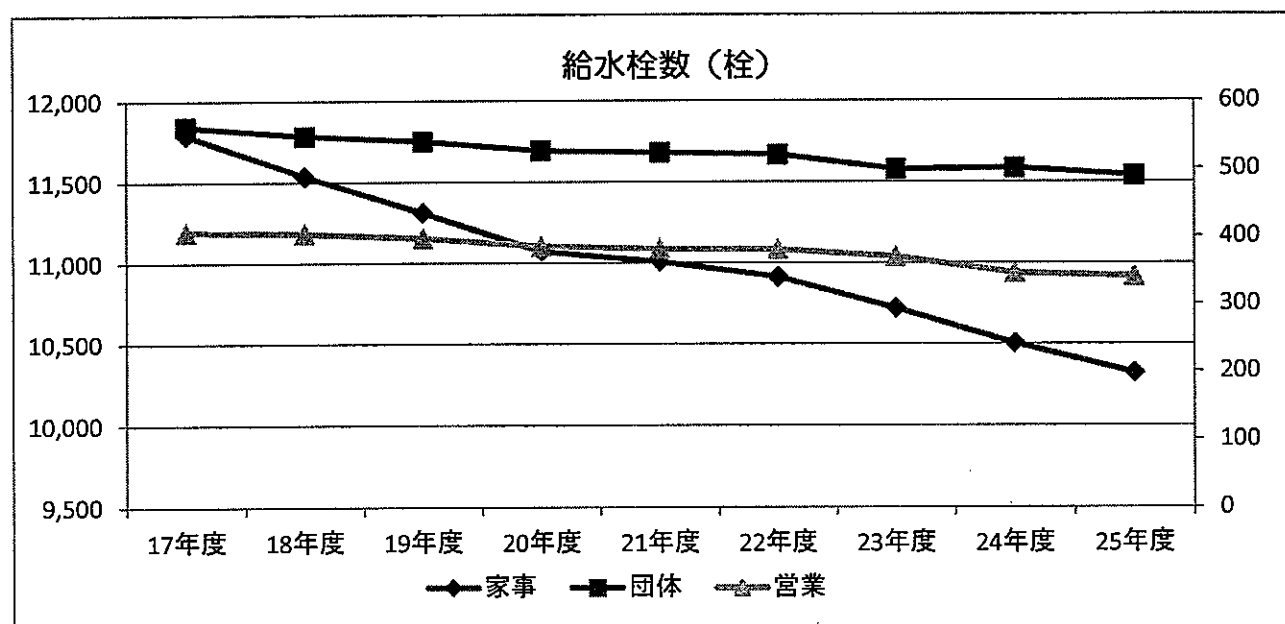
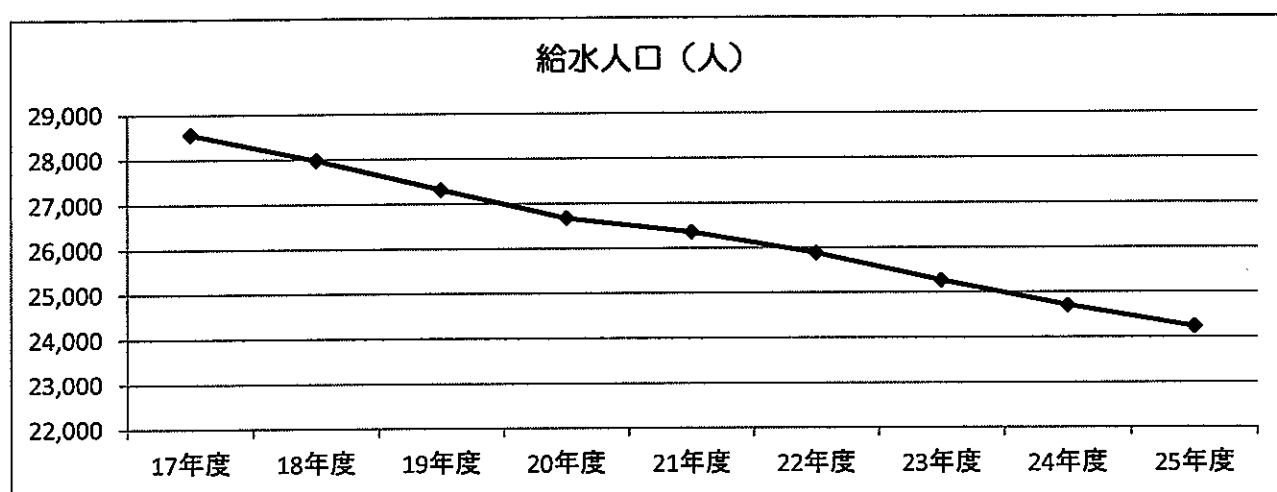
2 不良債務発生の原因

不良債務発生については、慢性的な給水人口や給水世帯の減少及び近年の学校施設や病院施設の撤退などで、家庭用、営業用、団体用、大口用などの給水収益が大幅に落ち込んだことが原因と考えている。

給水人口等の推移

(単位：人・戸・栓)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	H25-H17
給水人口	28,550	27,976	27,310	26,674	26,354	25,884	25,265	24,711	24,229	△ 4,321
給水世帯	12,988	12,846	12,728	12,595	12,606	12,565	12,344	12,198	12,111	△ 877
給水栓数	12,773	12,507	12,260	11,994	11,920	11,821	11,595	11,356	11,157	△ 1,616
家事用	11,787	11,536	11,311	11,072	11,005	10,912	10,719	10,502	10,320	△ 1,467
団体用	562	548	540	526	523	520	498	500	489	△ 73
営業用	406	404	397	385	381	380	369	345	340	△ 66
大口用	4	3	3	3	3	3	4	4	4	0
その他	14	16	9	8	8	6	5	5	4	△ 10



3 経費の削減

資金剰余金がピークだった平成17年度から、人件費については美唄浄水場管理業務の一部委託化、水道部の廃止、グループ制導入における業務分担の見直しなどにより、2,317万円減少し、職員数は4名の減となっている。

また、主な経費のうち大きく削減できたものは、人件費及び起債の借換を行ったことによる支払利息で、平成17年度からの決算対比で約2,830万円の削減となっているが、薬品費や配水管修繕費は適正な水質基準を満たすことや配水管等の維持修繕を行うために必要な経費のため、削減を行うことは非常に難しい。

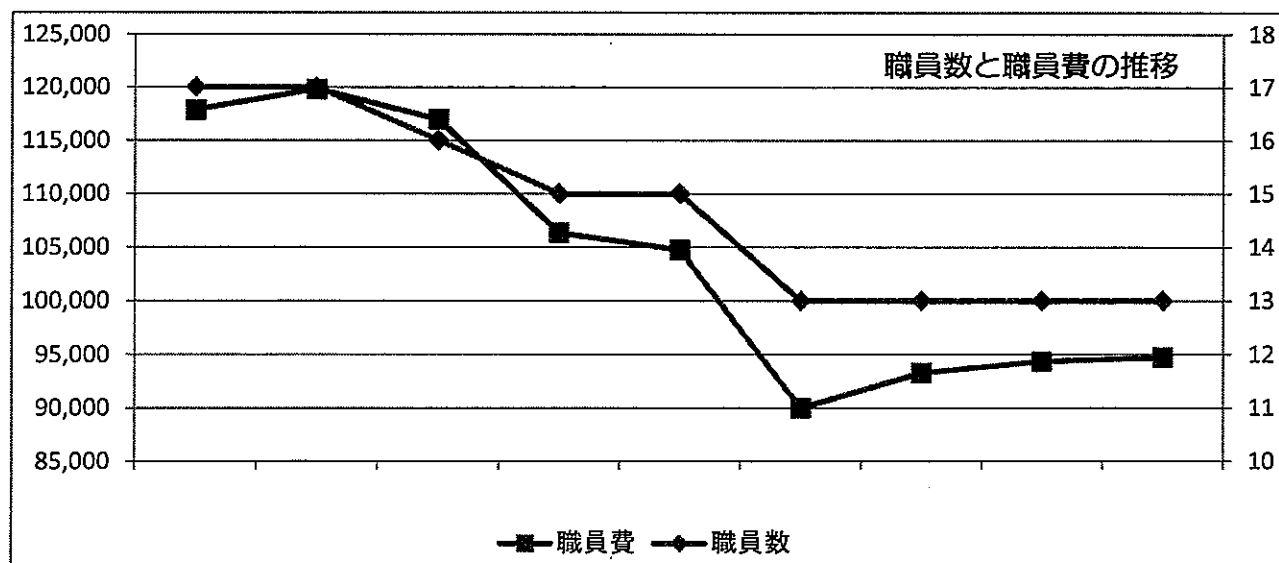
(単位：千円)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	H25-H17
収益的支出	595,028	614,524	582,949	569,590	553,215	555,235	581,671	569,328	559,493	△ 35,535
資本的支出	457,669	426,290	454,835	465,571	504,233	367,762	401,609	387,373	394,799	△ 62,870
合計	1,052,697	1,040,814	1,037,784	1,035,161	1,057,448	922,997	983,280	956,701	954,292	△ 98,405

主な費用

(単位：千円)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	H25-H17
職員費	117,865	119,808	116,977	106,309	104,733	89,970	93,253	94,336	94,703	△ 23,162
(職員数)	17	17	16	15	15	13	13	13	13	△ 4
負担金	36,056	34,832	33,336	33,768	38,199	37,396	39,344	39,237	39,205	3,149
薬品費	13,021	11,132	8,711	9,628	8,899	13,371	13,769	17,457	11,865	△ 1,156
修繕費	15,720	23,937	24,965	27,640	12,167	20,021	17,217	22,486	18,135	2,415
メーター関係	39,609	37,432	38,812	44,389	42,595	52,825	35,407	41,507	35,886	△ 3,723
支払利息	108,705	105,705	104,279	96,025	91,544	84,511	83,575	82,032	80,406	△ 28,299
浄水場管理委託	10,920	10,850	10,528	10,528	10,528	10,528	10,528	14,300	14,300	3,380
工事請負費	245,950	242,990	174,375	208,390	181,690	166,440	201,500	172,500	186,370	△ 59,580
企業償還金	186,417	162,714	266,294	243,166	308,991	179,220	183,665	190,379	188,661	2,244



4 今後の不良債務の状況

今後の人口想定をした結果、給水人口の減少は継続し、景気回復についても早急な改善は見込めないことから、給水収益の回復は難しいと考えており、経費削減においても限界があることから、このままの状況であれば不良債務は増加していくと考えている。

不良債務及び不良債務比率

(単位:千円)

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
不良債務	37,073	85,398	141,951	219,420	311,992	435,859	558,470
不良債務比率	8.2%	19.4%	32.7%	51.3%	74.1%	105.0%	136.5%

5 不良債務の解消

不良債務の早急な解消については、一般部局と協議を行いながら今後の水道事業経営を好転化させるため、水道料金の改定について検討を進めている。

不良債務の解消には一般部局と連携を図った上で、平成27年度中に水道料金の改定が必要であると考えている。